

## 得意の溶接技術で 公共構造物の製造に貢献

納期相談  
企画力自信有  
コスト相談  
メイドイン  
ジャパン  
試作可  
小ロット  
量産対応



高い評価の溶接加工

**業務内容**  
売上げの90%は  
屋外照明用ポール

鉄やステンレスの板、パイプなどの加工を得意としており、主に道路、公園、駐車場、工場向けの屋外照明用ポールを製造している。この屋外照明用ポールだけで売上げの90%近くを占める。溶接技術の評価が高く、物流倉庫のリフター機器部品や公共エクステリア製品なども手がけている。

溶接に付加価値を付ける目的で、パイプ曲げやプレス加工なども手がけるようになった同社だが、これらの加工技術でも高い評価を得ている。平成29年には中小企業庁の「ものづくり補助金」を活用してレーザー加工機を導入。厚さ19mmまでの板や径φ150までのパイプなど、精密な切断加工にも対応できるようになった。

**強み**  
多様な設備で  
ニーズに応える

溶接技術者である徳島康寛社長一人により事業をスタートさせた経緯があり、溶接技術にはこだわりが強い。現在、従業員9名のうち7名が技術者だが、全員が溶接免許を取得し手溶接、ロボット溶接などの技術では顧客から厚い信頼を得ている。

また設備投資にも力を入れており、前述のレーザー加工機のほか、NC（数値制御）旋盤、パイプ曲げ機、ボール盤など多様な金属加工設備を揃える。これにより、切断、曲げ加工、溶接といった金属製品の一貫加工が可能になり、短納期、小ロット、低コストなどといった顧客の要望に応えることができる。

**人材育成**  
外部セミナー活用し  
多能工化を推進

従業員のほとんどが若手だが、徳島社長の

ほかにも溶接技術のベテランがおり、若手技術者にOJTで技術指導をしている。各種溶接免許の取得も積極的に進め、その人材育成策の成果として、技術者全員の溶接免許取得があげられる。

また、少人数で金属製品の生産を実現するためには、従業員一人ひとりが溶接だけでなく複数の業務や加工工程をこなすことが必要だ。同社では、外部の社員教育セミナーを活用したり、外部から講師を招いたりして、従業員の多能工化を進めている。

**今後の展望**  
技術力向上と提案営業で  
新規顧客を開拓

今後はロボット溶接機を増強し、高度な溶接技術が必要とする新分野を開拓したいと考えた。高い溶接技術の習得に向け、技術者の教育にも一段と力を入れる。外注に頼っている屋外用ポールの塗装工程についても、内製化に向けた技能取得を考えている。

現在は公共構造物向けが主体となっているため、その他の分野にも進出することによって年間を通して受注の平準化を図る計画を進めている。営業力の強化により、工夫を施した製造工程を顧客へ提案。技術力をアピールする機会が増加により、新規開拓していく方針だ。徳島社長は「将来的には自社製品も手がけてみたい」と熱く語る。



平成29年導入のレーザー加工機



ロボット溶接機

## 当社の歴史



平成17年にそれまで勤めていた企業の一部を間借りする形で独立し、個人営業で溶接技術者としての事業を始めました。その後、少しずつ設備を増やして金属加工の幅を広げ、同27年に法人化しました。現在は従業員も9名に増え、大阪府の羽曳野市と千早赤阪村で2工場を運営しています。

代表取締役 徳島 康寛さん

<http://www.kandai-industry.co.jp/>

### 主な事業内容

屋外用照明ポールなどの溶接を中心とする金属加工

### 主な取引先(納入先)

照明器具メーカー、  
公共エクステリアメーカー、  
繊維機械部品メーカー

●住所 〒583-0847  
羽曳野市  
大黒78-4

●TEL 072-926-1395  
●FAX 072-926-1394  
●創業 平成17年10月  
●設立 平成27年4月  
●資本金 500万円  
●従業員 9名

大阪  
30